

平成 22 年 9 月 10 日
 建築・都市整備・道路委員会資料
 都市整備局

相鉄・東急直通線の 都市計画市素案の説明会開催について

「神奈川東部方面線」のうち相鉄・東急直通線（羽沢駅～日吉駅間）について、今回相鉄・東急直通線の位置、区域、構造などを示した都市計画市素案（以下市素案）を策定しましたので、その内容や今後の都市計画手続きの流れなどについて、次のとおり説明会を開催します。

開催日	時間	場所
9月27日(月)	午後7時～午後9時	港北公会堂
9月28日(火)	午後7時～午後9時	羽沢小学校体育館
9月30日(木)	午後6時30分～午後8時30分	横浜ラポール ラポールシアター
10月1日(金)	午後7時～午後9時	日吉台中学校体育館
10月3日(日)	午後2時～午後4時	綱島地区センター体育館

なお、縦覧及び公聴会の日程は次のとおりです。

○ 市素案の縦覧

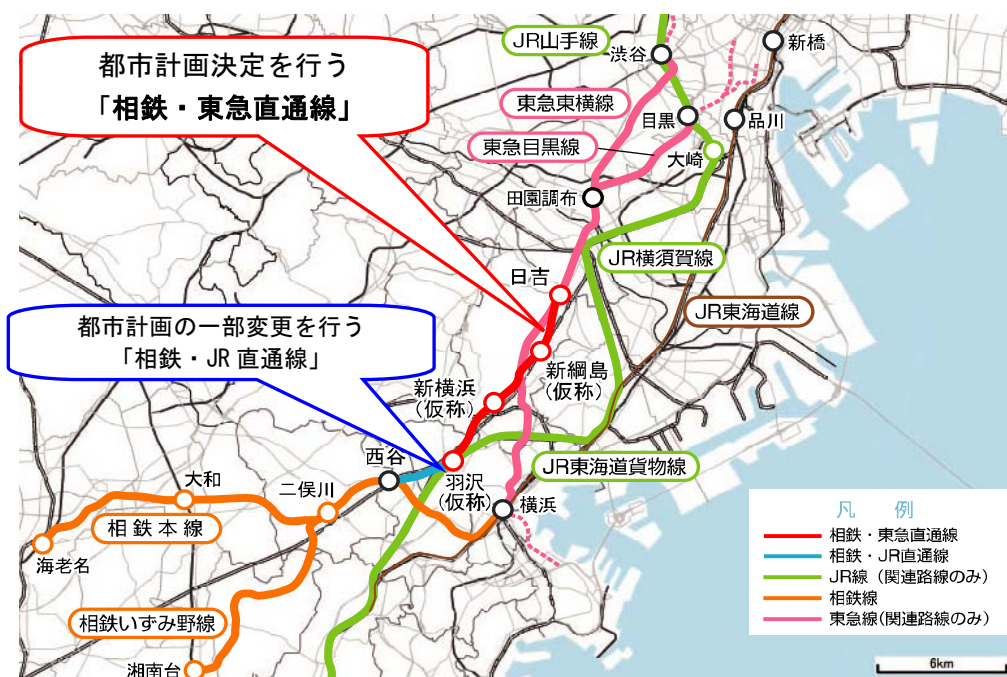
- ① 期間：10月5日（火）から10月19日（火）まで
- ② 場所：建築局 都市計画課

※市素案については、神奈川区役所、保土ヶ谷区役所、港北区役所でも閲覧ができます。

○ 公聴会（公述申出があった場合に実施するものです。）

- ① 日時：平成22年11月30日(火)午後7時～午後9時
- ② 場所：港北公会堂

<参考>位置図



※添付資料：「お知らせ」

裏面あり

【参考】

1 相鉄・東急直通線の概要

「相鉄・東急直通線」は、神奈川東部方面線の機能の一部として、相鉄・JR直通線の羽沢駅から新横浜を經由し、東急東横線・目黒線日吉駅までの区間に連絡線を整備するもので、平成31年度の開業を目指しています。

この連絡線の整備により、相鉄線と東急線との相互直通運転が可能となり、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、速達性の向上、新幹線アクセスの向上、JR東海道線等の既設路線の混雑緩和や乗換回数の減少、新横浜地区をはじめ沿線地域の活性化等に寄与します。

2 相鉄・東急直通線の経緯等

平成12年 1月	運輸政策審議会答申第18号にて、神奈川東部方面線が答申される。
平成17年 8月	都市鉄道等利便増進法が施行される。
平成18年 6月	都市鉄道等利便増進法に基づく営業構想・整備構想の認定を国土交通大臣より受ける。
平成19年 4月	都市鉄道等利便増進法に基づく速達性向上計画の認定を国土交通大臣より受ける。
平成20年11月	事業説明会開催
平成21年12月	環境影響評価方法書手続き終了

3 相鉄・JR直通線の概要

相鉄・JR直通線は、相鉄線西谷駅からJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近までの区間に連絡線を整備し、相鉄線とJR線との相互直通運転を行うもので、平成27年度の開業を目指しています。

本年3月に環境影響評価の手続きと都市計画決定の手続きが完了し、今年度は駅付近の用地買収やトンネル部の地上権設定を行うとともに、西谷駅付近では9月上旬に工事説明会を開催しており、工事を進めます。

4 事業主体等

		相鉄・JR直通線	相鉄・東急直通線
事業主体	整備主体	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
	営業主体	相模鉄道株式会社	相模鉄道株式会社 東京急行電鉄株式会社
整備区間		相鉄本線西谷駅～ JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近	JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近 ～東急東横線・目黒線日吉駅
延長		約2.7km	約10.0km
事業費		約683億円	約1,957億円
事業予定期間		平成18年11月～ 平成27年3月	平成19年4月～ 平成31年3月
運行区間		海老名駅・湘南台駅～西谷駅～ 羽沢駅（仮称）～新宿方面	海老名駅・湘南台駅～西谷駅～ 羽沢駅（仮称）～新横浜駅（仮称） ～新綱島駅（仮称）～日吉駅 ～渋谷方面・目黒方面
運行頻度		朝ラッシュ時間帯：4本/時 程度 その他の時間帯： 2～3本/時 程度	朝ラッシュ時間帯： 10～14本/時 程度 その他の時間帯： 4～6本/時 程度